

ウルトラ警備隊

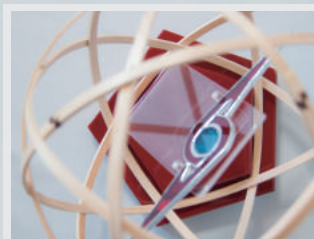
エンブレム オブジェ



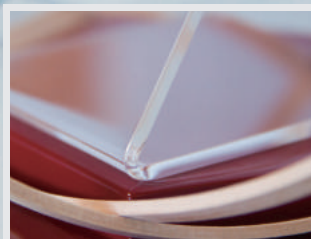
高度な切り出し技術



山桜の皮での綴じ合わせ



伝統の朱塗り技法



アクリルの曲げ加工

※実物と細部が異なる場合がございます。
職人の手作りのため、ご了承ください。

ウルトラ警備隊エンブレム オブジェ

ウルトラセブン放送開始 50 年記念

きらめくスタンドグラスの ウルトラ警備隊エンブレム。

それを包み込む檜（ひのき）の球体。

パーツのひとつひとつが職人の手仕事で作られた

「ウルトラ警備隊エンブレム オブジェ」

新潟県長岡市「足立茂久商店」がアートディレクターとなり、

自ら檜の曲輪で球体を製作。

上越市のガラス工房「falaj(ファラジ)」がスタンドグラスのエンブレムを、

南魚沼市「ワタナベ加工」がアクリル製のスタンドを、

新潟市東区「阿部仏壇製作所」が朱塗りの五角形台座を、それぞれ製作しました。

檜の球体は、本来は折れやすい、木という素材の新しい形への挑戦。

曲輪を綴じ合わせるのは山桜の皮。

昔から受け継がれてきた技術を土台として、曲輪の球体が生まれました。

作品の核となる、スタンドグラスの「ウルトラ警備隊エンブレム」は、

ガラスの切り出しから、削り、接合ハンダ付けまで、すべて手作業。

スタンドグラスでは通常用いることのない鋭角の切り出しや、

複雑なパーツ同士のハンダ付け固定など

高難度の技術を用いることでスタンドグラスとしての新たな造形を実現しました。

エンブレムを支えるアクリル製のスタンドも、職人の手仕事。

アクリル板の切り出し、曲げ加工、いずれも手作業で行なっています。

朱塗りの五角形台座は、仏壇製作の技術を生かし製作。

五角形という難しい形状の木地作りを木地師が、

それを朱塗りに仕上げる工程を塗り師が担い、

多くの工程を経て、一つのパーツを完成させます。

越後の職人たちが丹精込めて作り上げた「ウルトラ警備隊エンブレム オブジェ」

その世界観をどうぞお楽しみください。



2018年3月

【お問い合わせ】

足立茂久商店

〒940-2526 新潟県長岡市寺泊山田 1289

電話：0258-75-3190